



生徒一貯金で講堂建設

江名小 新校舎四月完成

総工費五百万円の新築中の新校舎の江名小は四月下旬に完成、五月はじめに九百七十八人の生徒が木の香も新しい校舎に移転する。旧校舎は船員休養所に当ててこたになつた。

これは昨年、同市江名字大木作地内の三千八百七十坪の敷地に二階建三棟(二十六教室、睡坪八百七十六坪)を建設中のものである。本校生徒たちは、こたを新築される校舎に譲渡しないというので、全校生徒が一日四時金を集めて、新築校舎の建設費に充てられた。

四倉小PTA 役員改選

四倉小学校PTA総会は三月二十一日午後一時、同校社務室に於いて、八十名の役員が集つて、三月二十一日午後二時、事務連絡会並に新役員改選が行われた。

俳句

前田恒雄 四年生
しもりて柿の葉赤く二つ三つ
黒いやね雪でおおわれ白くなる
平田信雄
冬すきて草が芽をだす春がくる
うめの花も色づくしきれいだな
伊藤脚夫
窓ぎわにしもりて冬の朝
五年生
西山裕勝
そよ風が吹きそよそよ春近し
春が来た池のまわりのうめの花
に輝けた様—そして動かすは
れはなほなほ宿命が、身
にこぼれぬのちも知れぬ、身
にこぼれぬのちも知れぬ、身
にこぼれぬのちも知れぬ、身

退屈日記

「感傷的な国民は滅びたい」
と三十本記念と題しての「母」
なる映画を見た。年甲斐もなく、
く、とめどなく流れる涙、
すっきり手余した。

母

「母」なる映画を見た。年甲斐もなく、く、とめどなく流れる涙、すっきり手余した。その孫娘が、或る温かな日、膝にまはりて集つた幼い友達に「家だまりに集つた幼い友達に」家だまりに集つた幼い友達に「家だまりに集つた幼い友達に」家だまりに集つた幼い友達に「家だまりに集つた幼い友達に」

水道

紙がぼくの足にさわつた。学校へくる朝のこと、後をみたら、またひらひらおつてきた。犬がじやれてるようだ。「ぼくは学校へいくんだよ」よこにうごいた。紙はぼくの前になつていつてしまった。

水道

紙がぼくの足にさわつた。学校へくる朝のこと、後をみたら、またひらひらおつてきた。犬がじやれてるようだ。「ぼくは学校へいくんだよ」よこにうごいた。紙はぼくの前になつていつてしまった。

紙

紙がぼくの足にさわつた。学校へくる朝のこと、後をみたら、またひらひらおつてきた。犬がじやれてるようだ。「ぼくは学校へいくんだよ」よこにうごいた。紙はぼくの前になつていつてしまった。

水道

紙がぼくの足にさわつた。学校へくる朝のこと、後をみたら、またひらひらおつてきた。犬がじやれてるようだ。「ぼくは学校へいくんだよ」よこにうごいた。紙はぼくの前になつていつてしまった。



すずかけ

三の五 大塚美和子

校門のすずかけは、せのびしている。毎朝「おはよう」といつている。夜はひとり。さむかろう。さびしかろう。でもいつも元気だ。すずかけのように。元気ののびたいなあ。すずかけさん。きようそうしようね。

紙

紙がぼくの足にさわつた。学校へくる朝のこと、後をみたら、またひらひらおつてきた。犬がじやれてるようだ。「ぼくは学校へいくんだよ」よこにうごいた。紙はぼくの前になつていつてしまった。

水道

紙がぼくの足にさわつた。学校へくる朝のこと、後をみたら、またひらひらおつてきた。犬がじやれてるようだ。「ぼくは学校へいくんだよ」よこにうごいた。紙はぼくの前になつていつてしまった。

水道

紙がぼくの足にさわつた。学校へくる朝のこと、後をみたら、またひらひらおつてきた。犬がじやれてるようだ。「ぼくは学校へいくんだよ」よこにうごいた。紙はぼくの前になつていつてしまった。

水道

紙がぼくの足にさわつた。学校へくる朝のこと、後をみたら、またひらひらおつてきた。犬がじやれてるようだ。「ぼくは学校へいくんだよ」よこにうごいた。紙はぼくの前になつていつてしまった。

水道

紙がぼくの足にさわつた。学校へくる朝のこと、後をみたら、またひらひらおつてきた。犬がじやれてるようだ。「ぼくは学校へいくんだよ」よこにうごいた。紙はぼくの前になつていつてしまった。

Superte GASOLINE

一年365日... 24時間無休...

常磐菱油

内郷市御台境 TEL2146

住吉荘

450円 効 住吉荘

平市御台町 電話二二八

丸平商店

平市郵便局裏通り 電話三三〇番

江戸前寿司 江戸川

うな井 かばやき 釜めし 水たき

出前迅速

才小路店 電話二〇二二 紅小路店 電話七二七

五スロン植

絶好のくさらない鋳で工作出来る

販売店 大谷建材店 平市御台町 電話三六六

硬質塩化ビニール

平市世界館横

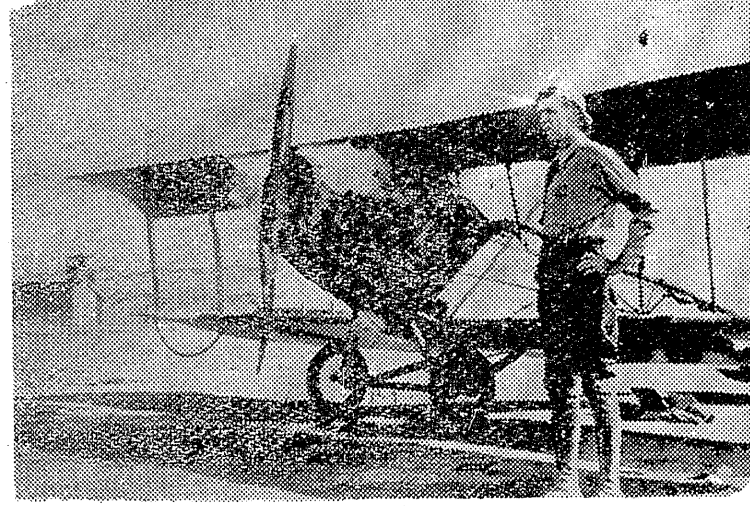
ステュアートの名演技

輝かした航空記録映画

飛行の成功であり、それを成し上げたのが当時二十四才の青年飛行家、リンドバークとその大伴である。かくしてリンドバークは一種のヒーローとなり、後陸軍大佐に昇進し、一九三二年にはわが国にも来朝、その後、幸福な結婚でもうけた。愛児を誘拐されたリンドバーク事件の悲劇的主人公としても彼の名は一層有名になった。横断飛行の詳細を綴った原著は五六ページからなる大冊で、リンドバークは十数年を費して書き上げたもので、原題でもありこの映画の題名でもある。『ザ・スピリット・オブ・セントルイス』の意味は、大壮事を敢行させたセントルイスの人々の心意気を意味しているものである。主演は好漢ジエム・スチュアート、彼の特異なパーソナリティと演技が最も出ずる。ユーマン本味に加えて、今次大戦でアメリカ最高の十字勲章を受けた航空軍将の肩章と手帳はまさにリンドバークにうつつけ、ジエム・スチュアートはつとまらなかつたという感ぜ余蘊から汲みとれる。もう一つの言葉なき主演をやる『セントルイス』は、往時をつぎに再現させたのである。

人類最初の壮挙、大西洋横断無着陸飛行、翼よあれが巴里の燈た

リンドバークはアメリカ人の偶像である。一九二七年の五月二十日午前七時五十二分、ニューヨーク、ロングアイランドのルイスウエルト飛行場を飛び立った。『セントルイス』が翌日の午後十時(ニューヨーク時間午後五時、所要時間三十三時間二十九分二十秒)バリのル・ブールジエ飛行場に降陸した時、全世界は引きかえつた。これが最初の大西洋横断無着陸飛行である。



飛行家、往時をつぎに再現させたのである。監督は今更だためて云々するまでもなく、『サンセット大通り』『運しのサブリナ』『七年目の浮気』の才氣ビリー・ワイルダーで、彼の自信満々の弁舌を添付するが如くアメリカの絶頂の傑作をこの映画に贈っている。製作は『ミスター・ロバート』『雨太平洋』『老人と海』等々、数々のヒット作

佳作をプロデュースした名製作者リンドバーク・ヘイワード、脚色はワイルダーと後編ウエンデル・メイが共同で当り、撮影監督は「知りすぎた男」「闇を走った男」のロバート・パークスと「野王リチャード」「大敵の蜂起」のペヴェール・マーレイの敏感なる二人が担当している。又、魅惑の空中場面は、この道の大家のトーマス・タットワイラーが堅持し「サンセット大通り」「運の当る場所」でアカデミー賞を受賞した「ミス・ロバート」の鬼才コフツ・ワックスマンが、音楽部に光彩を放っている。

◆スタツフ◆
原作……リンドバーク
製作……リンドバーク・ヘイワード
監督……ビリー・ワイルダー
脚色……ワイルダー
脚色……ウエンデル・メイ
潤色……チャールズ・レドラー
撮影……ロバート・パークス
照明……マール・ペヴェール
空中撮影……マール・ペヴェール
トーマス・タットワイラー
美術監督……アート・ロール
編集……アーサー・シニョット
音楽……M.A.メリック
装飾……ウィリアム・L.

おたけ……水町千代子
魚……大辻三郎
平……凡太郎
肉……凡太郎
八百屋……橋本喜三
ひつじ……如月寛多
新聞配達の少年……山本一巳
その父……藤尾 紘子
泥……丘ちよる
牛……有馬 是郎
司會者……宮田 洋吉
警察署長……藤山 龍一
婦人警官……綾川 佳子
新聞記者……守田比呂也
牛乳屋……中原 成男
小西……小西 昌彦
小西の妻……谷村 昌彦
若い夫……林家 三平
若い妻……光丘ひろみ

◆キヤスト◆
チャールズ・リンドバーク……ジエム・スチュアート
ハロルド・ピクスピー……デイヴィッド・オーソツク
ランバート……ロバート・バートン
ビル・ロバートソン……ジエム・スチュアート
トマス・ロバート……トマス・ジュニア
E・ランシング・レイ……モリス・マンソン
エール・トムソン……ジエム・スチュアート
ハリイ・ナイト……ロバート・コンウェイ
マホニー……パトリック・ロビンソン
ドナルド・ホール……アーサー・スペース
露……パトリシア・スミス
バット・ガニー……マール・ペヴェール
ハスマン神父……マーク・コノロイ
▽同時上映『列車大襲撃』『アパッチの狼火』
▽日一から七日まで
聚楽館

評 村上啓夫
「翼よあれが巴里の燈た」は細かい描写を冷静にみかされたワイルダーの技法が、この映画の核心となつており、リンドバークの本づつた物語をさらにワイルドなものでしているのは決して稱賛しない。その冷静さはリンドバークの本にも現れていて、その忠実なそして正しい製作態度だつたといえる。もちろん、これをもちつてキエメンタリー映画といふことはできない。が、ドキュメンタリー映画以上のドラマティックな迫力をあけるためにも、つとめた劇的アクセントを巧妙に駆使することに成功した。といつてよい。それと同時に風俗的な時代考証が非常に丁寧で、いつの時代の目撃される。ワイルダーの演出と相俟つて、あるいはこの映画の最大の功業者はリンドバークの伝記作家ジエム・スチュアートだといつてもよいかもしれぬ。二四才の青年パイロットを

映画は飛行機とステュアートが一人の身体となつた、いわばワンマンシヨウであるが、数少ない助演者たちもすべてすぐれた個性を發揮しているのは、ワイルダーの統率力によるもの。ロバート・パークス、飛行機担当のバウル・マツとキエメンタリーのすぐれていることは見のがせない。航空撮影はトーマス・タットワイラーで、夜間撮影の風情などはほとんど驚くべき。ロバート・パークスとペヴェール・マーレイによる地上場面、セット撮影の画面もシムルなまじりがあり申分なかつた。「つばき」以来、過去三十年に亘つて航空映画は実に数多くつくられてきた。「翼よあれが巴里の燈た」はなかなかもっとも優れた航空映画である。ここでは飛行機そのものが描かれてはいるばかりでなく、サンテクジユベリの航空文藝の時の精神を行動主眼に通ずるものを見せた映画である。飛行機を描いた傑作が多いが、これまでパイロットの精神を追究した航空映画はかつて見なかつたものである。

おとらさんのホームラン
解説(婦人雑誌に連載され、テレビの人気番組として、又単行本としても好評の西川辰美の漫画「おとらさん」の映画化。昨年、映画化されて好評を受けたので、再びここに映画化の運びとなつたのである。原案西川辰美、原作有崎 勉、脚本新井一、原島正夫、和田勝美の共同脚色、それに前作同様、小田基義監督が演出に当る明確な意図である。出演者は、柳家金語楼、柳沢真一、川田幸子、

機京子、若水やエ子、大辻三郎、平凡太郎とテレビでお馴染みのレギュラー・メンバーに、有島一郎を加え、野球評論家の小西得郎が特別出演する上、林家三平、宮田洋吉、それに新星光丘ひろみといつた前作以上の豪華且つバラエティに富む、キヤストを組んでの明朗喜劇である。

主題歌
おとらさん
作詞 作曲 木下忠司
私は女中のおとらさん
ほろり持つたら猫をさし
ニヤア
はたき持つたらはいをとり
レギュラー・メンバーに、有島一郎を加え、野球評論家の小西得郎が特別出演する上、林家三平、宮田洋吉、それに新星光丘ひろみといつた前作以上の豪華且つバラエティに富む、キヤストを組んでの明朗喜劇である。

監督……和田勝美
監修……小田基義
脚色……有崎 勉
原案……西川辰美
脚本……新井一
原島正夫
機京子……若水やエ子
大辻三郎……平凡太郎
有島一郎……有島一郎
小西得郎……小西得郎
林家三平……林家三平
宮田洋吉……宮田洋吉
新星光丘……新星光丘

キヤスト
おとらさん……柳家金語楼
日野江守三……有島 一郎
その妻……水の也清美
長女トコ……川田 幸子
長男タツオ……日吉としやす
いも……柳沢 真一
お八重……若水やエ子
お豆……小枝 京子

おたけ……水町千代子
魚……大辻三郎
平……凡太郎
肉……凡太郎
八百屋……橋本喜三
ひつじ……如月寛多
新聞配達の少年……山本一巳
その父……藤尾 紘子
泥……丘ちよる
牛……有馬 是郎
司會者……宮田 洋吉
警察署長……藤山 龍一
婦人警官……綾川 佳子
新聞記者……守田比呂也
牛乳屋……中原 成男
小西……小西 昌彦
小西の妻……谷村 昌彦
若い夫……林家 三平
若い妻……光丘ひろみ

映画は飛行機とステュアートが一人の身体となつた、いわばワンマンシヨウであるが、数少ない助演者たちもすべてすぐれた個性を發揮しているのは、ワイルダーの統率力によるもの。ロバート・パークス、飛行機担当のバウル・マツとキエメンタリーのすぐれていることは見のがせない。航空撮影はトーマス・タットワイラーで、夜間撮影の風情などはほとんど驚くべき。ロバート・パークスとペヴェール・マーレイによる地上場面、セット撮影の画面もシムルなまじりがあり申分なかつた。「つばき」以来、過去三十年に亘つて航空映画は実に数多くつくられてきた。「翼よあれが巴里の燈た」はなかなかもっとも優れた航空映画である。ここでは飛行機そのものが描かれてはいるばかりでなく、サンテクジユベリの航空文藝の時の精神を行動主眼に通ずるものを見せた映画である。飛行機を描いた傑作が多いが、これまでパイロットの精神を追究した航空映画はかつて見なかつたものである。

美と健康をつくる!

ヤクルト

生菌

培養責任者 医学博士 代田 隆

特許 183156号

株式会社 ヤクルト 常磐営業所
代表取締役 塩 満
平市松カ岡公園裏 TEL 呼) 1413

御定食 ¥50

中華 そば
その他

大衆 さかえ 食堂
平駅前 電話八八九

学生帽のエンブレ

財団法人 竹林病院
院長 竹 林 貞 吉
本院 平市十五丁目三番地
電話六〇八・八一二番
分院 平市小太郎町十三番地
電話一四七四番

厚生医療指定病院
労災保険指定病院
皮膚科 泌尿科 小児科 呼吸器科
内科 外科 産科 小児科 泌尿科
理学療法科 泌尿科 泌尿科
泌尿科 泌尿科 泌尿科